

急激に変化し、予測困難な社会を生き抜く子どもたちの未来に向けて  
常に教師の授業力を高めようとする学校であるために・・・



# 授業を探究する 学校

ICTで授業を<sup>み</sup>観合い語り合う学校風土づくり  
～時間と空間の制約を越えて～

「普段の授業」を観合い、語り合ってみませんか？  
学び合う学校風土が子どもたちの豊かな未来へつながります。



学び合い  
による  
授業改善



子どもたちの  
資質・能力  
向上



豊かな未来  
の実現

学び合いたいけど……、時間が足りない。

授業を参観する時間を確保したい

短い時間で効率よく協議を深めたい

そこで、提案します！

時間と空間の  
制約を越えて

## ICTを活用して効率的・効果的に授業参観・協議

授業を

観合う

ICTを活用することにより、その時その場所でしか観られなかった授業が、いつでもどこでも観られるようになります。

授業を録画し、クラウド上に  
保存したものを観合う

職員室や他教室等から  
授業を遠隔で観合う

時・場所を  
選ばない

繰り返し  
観られる

部分視聴で  
時間短縮

他校とも  
連携可能



授業者も  
自分の授業  
を観られる



移動が  
いらぬ

動画撮影や遠隔視聴（アプリによっては録画可能）ならではのメリットがあります。

- ・データを保存、蓄積していくことで、授業実践の共有ができます。  
→ より多くの教員が観たり、翌年度に引き継いだりする等、多様な使い方が可能です。
- ・以前の動画と比較することで授業者や児童生徒、学級の変容を見取ることができます。
- ・参観授業ではない、普段の授業での児童生徒の様子を観ることができます。
- ・職員室を離れることが難しい場合でも、授業を観ることができます。
- ・小規模校同士、同じ教科同士など、他校との連携に発展させることも可能です。
- ・参観者が教室に集まるのが難しい大規模校においても有効です。

授業を観る際の視点、撮影のポイントはこちら→





## 授業を

## 語り合う

ICTを活用することにより、気軽な語り合いや、機能・ツールを活用した効率的な協議が可能になります。

### チャット機能を活用して授業について語り合う

### 情報共有ツールの機能を活用して授業について語り合う

😊 授業とても工夫されていましたね

😊 ありがとうございます

😊 子どもが興味をもって問題を見だし自ら課題を設定できていたところが素晴らしかったです

😊 説明だけでなく、実物を用意することが興味をもつことにつながったのかも知れません

😊 表情がキラキラ輝いていました！

😊 この動画の場面では〇〇と発問すると子どもの思考がさらに深まるのではないのでしょうか？


😊 なるほど。さらに、考えたことをグループで共有する場面を設けるといいですか？

😊 はい、そちらの方がより学びが深まると思います

**時・場所を選ばない**

**意見を瞬時に見える化**

**写真・動画の添付**



テーマ：主体的な学びを実現する授業づくり

【良かった点】

〇〇を提示することで視覚化でき、見通しをもつことができていた

導入部分での発問で、子どもの表情がやる気になっていた

テーマに沿って入力

振り返りで、自分ができるようになったことを自覚できていた

子どもの生活に関連した問題で、自分と結びつけて考えられていた

【課題】

話し合いができていないグループへの手立てが必要

文章での解答をあきらめてしまう子どもへの支援

ICT端末を使うとっと効果的な場面があると感じた

**協議の資料として使用**

**共同編集で簡単共有**

### 協議にかかる時間を短縮し、効率化を図ることができます。

- ・気づきがあったとき、すぐに入力できます。  
→ 授業参観中に協議や協議準備を進めることも可能です。
- ・取り上げたい授業中の場면을、端末で写真・ビデオ撮影。  
→ チャットやツールに添付し、共有することも可能です。
- ・協議の時間を設けられなくても、隙間時間に協議を進められます。
- ・入力内容を事前資料として用いることで、協議を効率化できます。
- ・そのまま協議記録として残し、保存することができます。

チャット機能や情報共有ツールの具体的な使い方はこちら→



### ICTを活用して「観合う」「語り合う」際の留意点

- ・参観、協議でのICTの活用は一つの「手段」であって、直接観合うことも大切です。
- ・「児童生徒の学びを中心に」「主体的・対話的で深い学びになっているか」「研究テーマとの関連」等、視点を定めて行いましょう。
- ・データの取扱いについては、所管のセキュリティ対策基準等を確認してください。

# 授業を観合い語り合う 風土づくり

気軽にできることから始めてみましょう。  
それが風土づくりの第一歩になります。

管理職の  
ビジョンと戦略

学力向上担当等  
による取組の推進

授業を探究

教師の  
主体的な実践  
チームワーク



授業を探究する風土をつくるためには、管理職のビジョンと戦略、学力向上担当等による取組の推進、教師の主体的な実践の融合を進めることが大切です。



## 端末を持参することから

- ・板書や成果物の写真を撮影する。
- ・児童生徒の活動場면을撮影する。

## 授業の一場面から

- ・導入部分やまとめ部分等、場면을絞る。
- ・学校の研究テーマに沿って焦点化する。

## まずは少人数から

- ・同教科や同学年から始める。
- ・OJTを積極的に活用する。



みんなで力を合わせて  
取組を広げることで



## 授業を観合い語り合う学校風土の醸成

### ICTを活用して授業を探究する先に

初めのうちは、情報共有ツールの使い方に不安がありましたが、事前にミニ研修で使い方を確認したので、スムーズに取り組むことができました。

これまでの校内研修では、参観者が授業を観て気付いたことを話すことが多かったのですが、事前に情報共有ツールに入力された内容を把握した状態から協議を始めたので、より効率的に、お互いにとって深い学びになったと思います。

普段の職員室でも授業について話す機会が増え、子どもたちの学びの質も上がり、授業をすることが楽しくなりました。学校のみんで取り組む授業改善を是非お勧めします。

子どもたちの夢を育み 豊かな未来へ

令和4年9月発行『授業を探究する学校』【編集】岡山県総合教育センター  
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川7545-11  
TEL : (0866)56-9101 FAX : (0866)56-9121  
URL : <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/215/>  
e-mail : kyoikuse@pref.okayama.lg.jp



岡山県総合教育  
センターのHP